

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 東名

上場会社名 中部飼料株式会社
 コード番号 2053 URL <http://www.chubushiryu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 平野 宏
 (氏名) 西村 広司

TEL 0562-33-2102

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	30,728	△15.8	1,281	46.1	1,317	43.1	820	37.7
21年3月期第1四半期	36,485	—	877	—	920	—	596	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	30.97	—
21年3月期第1四半期	22.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	58,915	30,584	51.9	1,154.66
21年3月期	59,890	29,770	49.7	1,123.88

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 30,584百万円 21年3月期 29,770百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	62,000	△16.8	1,800	—	1,800	—	1,100	—	41.53
通期	125,000	△16.2	3,200	27.2	3,200	25.6	1,950	27.9	73.62

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	26,535,508株	21年3月期	26,535,508株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	47,620株	21年3月期	46,267株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	26,488,178株	21年3月期第1四半期	26,498,276株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、輸出や生産など一部に持ち直しの動きがみられるものの、昨年からの世界的な金融危機による景況感の悪化が続いており、企業業績の不振や雇用情勢の悪化、個人消費の低迷など厳しい状況で推移いたしました。

当業界を取り巻く環境は、主原料のとうもろこし価格が、前年は6月をピークにその後急激に下落しましたが、当第1四半期は米国主産地での長雨による作付遅れからやや上昇傾向のなか、概ね安定して推移しております。飼料メーカーは、前第4四半期に平均11,878円、当第1四半期に平均3,568円の値下げを行ないましたが、補てん金の発動がないため飼料価格の実質負担額が増加し、畜産家の経営は厳しい状況となっております。

このような状況のなか、当社グループは、新市場の開拓はもとより顧客の要望に合致した新製品の開発、積極的な販売活動の推進による売上拡大を図る一方、生産性向上、経費の削減等により業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期の業績は、売上高307億28百万円（前年同期比15.8%減）、営業利益12億81百万円（同46.1%増）、経常利益13億17百万円（同43.1%増）、四半期純利益8億20百万円（同37.7%増）となりました。

なお、事業の種類別セグメントの状況は、次のとおりであります。

（飼料事業）

売上高は、販売数量が前年同期比8.1%増と大幅に伸びたものの、前第4四半期の大幅な値下げにより平均売価が前年同期を下回ったため、前年同期比17.4%減の267億9百万円となりました。一方、営業利益は、配合飼料価格安定基金負担金の積み増しにより販管費が増加しましたが、飼料販売量の増加、生産性の向上及び原料の有効的使用によるコストダウンにより、52.0%増の13億65百万円となりました。

（畜産用機器事業）

畜産家の投資意欲減退により販売台数が減少したため、売上高は前年同期比27.5%減の5億3百万円、営業利益は66.8%減の38百万円となりました。

（不動産賃貸事業）

売上高は1億7百万円、営業利益は78百万円となりました。

（畜産物事業）

売上高は31億7百万円、営業利益は13百万円となりました。

（その他事業）

売上高は3億2百万円、営業利益は41百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ9億74百万円減少の589億15百万円となりました。流動資産は327億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億53百万円減少いたしました。これは主に飼料平均価格の下落に伴い売上債権が14億22百万円減少し、前渡金増加等により流動資産のその他が4億75百万円増加したことによるものであります。固定資産は261億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円減少いたしました。これは主に減価償却費が設備投資額を上回ったことにより有形固定資産が2億96百万円減少し、また株価上昇等により投資有価証券が4億71百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ17億88百万円減少の283億31百万円となりました。流動負債は214億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億88百万円減少いたしました。これは主に仕入単価の下落に伴い仕入債務が1億61百万円減少し、短期借入金10億円減少、未払法人税等が3億45百万円減少したことによるものであります。固定負債は68億65百万円となり、前連結会計年度末とほぼ同じであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ8億13百万円増加の305億84百万円となりました。これは主に利益剰余金が5億82百万円増加し、株価上昇に伴いその他有価証券評価差額金が2億65百万円増加したことによるものであります。

総資産が減少し、純資産が増加した結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.2ポイント増の51.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、9億82百万円となり、前連結会計年度末より1億88百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は13億81百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益13億17百万円の計上、売上債権の減少13億16百万円、たな卸資産の増加1億92百万円、法人税等の支払8億85百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3億14百万円となりました。これは主に固定資産の取得による支出3億44百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は12億55百万円となりました。これは主に借入金の減少10億15百万円、配当金の支払2億39百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月1日に公表しました平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年7月24日付で修正しております。詳細につきましては、同日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	982	1,170
受取手形及び売掛金	24,038	25,461
商品及び製品	1,349	1,550
仕掛品	246	240
原材料及び貯蔵品	4,089	3,701
その他	2,236	1,760
貸倒引当金	△222	△211
流動資産合計	32,721	33,674
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,569	7,689
機械装置及び運搬具(純額)	6,046	6,298
工具、器具及び備品(純額)	631	616
土地	7,142	7,142
建設仮勘定	63	3
有形固定資産合計	21,453	21,749
無形固定資産		
投資その他の資産	216	240
投資有価証券	2,286	1,814
長期貸付金	1,091	1,190
その他	1,521	1,595
貸倒引当金	△375	△375
投資その他の資産合計	4,524	4,225
固定資産合計	26,194	26,215
資産合計	58,915	59,890

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,683	8,844
短期借入金	7,400	8,400
1年内返済予定の長期借入金	1,999	1,935
未払法人税等	565	911
賞与引当金	204	335
役員賞与引当金	—	51
その他	2,612	2,776
流動負債合計	21,465	23,253
固定負債		
長期借入金	3,907	3,986
退職給付引当金	339	336
負ののれん	375	398
その他	2,244	2,144
固定負債合計	6,865	6,865
負債合計	28,331	30,119
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,695	2,695
資本剰余金	2,353	2,353
利益剰余金	25,125	24,543
自己株式	△31	△31
株主資本合計	30,142	29,561
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	423	158
繰延ヘッジ損益	18	51
評価・換算差額等合計	442	209
純資産合計	30,584	29,770
負債純資産合計	58,915	59,890

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	36,485	30,728
売上原価	33,114	26,687
売上総利益	3,370	4,041
販売費及び一般管理費		
運賃	595	584
飼料価格安定基金負担金	719	973
賞与引当金繰入額	98	121
その他	1,080	1,080
販売費及び一般管理費合計	2,493	2,759
営業利益	877	1,281
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	38	32
負ののれん償却額	22	22
保管料収入	40	40
その他	27	15
営業外収益合計	137	120
営業外費用		
支払利息	58	37
貸倒引当金繰入額	—	11
保管料原価	33	33
その他	1	2
営業外費用合計	93	84
経常利益	920	1,317
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	76	0
特別利益合計	76	0
特別損失		
固定資産除売却損	3	0
ゴルフ会員権評価損	0	—
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	994	1,317
法人税、住民税及び事業税	362	559
法人税等調整額	35	△62
法人税等合計	398	497
四半期純利益	596	820

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	994	1,317
減価償却費	598	563
負ののれん償却額	△22	△22
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△175	△131
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△45	△51
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△76	16
受取利息及び受取配当金	△46	△41
支払利息	58	37
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
ゴルフ会員権評価損	0	—
固定資産除売却損益 (△は益)	2	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,805	1,316
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,161	△192
仕入債務の増減額 (△は減少)	820	△151
その他	△301	△395
小計	△2,165	2,267
利息及び配当金の受取額	46	41
利息の支払額	△63	△41
法人税等の支払額	△451	△885
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,634	1,381
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	△128	△63
貸付金の回収による収入	46	126
有価証券の取得による支出	△4	△27
有価証券の売却による収入	0	—
固定資産の取得による支出	△359	△344
固定資産の売却による収入	754	0
その他の支出	△7	△38
その他の収入	6	33
投資活動によるキャッシュ・フロー	308	△314

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	9,000	4,200
短期借入金の返済による支出	△6,400	△5,200
長期借入れによる収入	300	500
長期借入金の返済による支出	△590	△515
自己株式の取得による支出	△0	△1
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△212	△239
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,096	△1,255
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△229	△188
現金及び現金同等物の期首残高	845	1,170
現金及び現金同等物の四半期末残高	615	982

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	飼料事業 (百万円)	畜産用 機器事業 (百万円)	不動産 賃貸事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	32,323	694	108	3,358	36,485	—	36,485
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	0	1	3	6	(6)	—
計	32,323	695	110	3,361	36,491	(6)	36,485
営業利益	898	117	75	40	1,132	(255)	877

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	飼料事業 (百万円)	畜産用 機器事業 (百万円)	不動産 賃貸事業 (百万円)	畜産物 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	26,709	503	107	3,107	302	30,728	—	30,728
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	0	1	—	1	3	(3)	—
計	26,709	503	108	3,107	303	30,732	(3)	30,728
営業利益	1,365	38	78	13	41	1,537	(256)	1,281

(注) 1 事業区分は製品・商品の種類及び性質を考慮した区分によっております。

2 各事業の主な製品

- (1) 飼料事業……………養鶏用、養豚用、養牛用及び養魚用飼料、ペットフード
- (2) 畜産用機器事業……畜産用機器
- (3) 不動産賃貸事業……不動産賃貸
- (4) 畜産物事業……………畜産物等
- (5) その他事業……………肥料等

3 事業区分の変更

従来、「畜産物事業」は「その他事業」に含めておりましたが、当該事業の売上高が全セグメントの売上高の合計額の10%を超えたため、当第1四半期連結累計期間より区分掲記しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第1四半期連結累計期間において用いた事業区分の方法により区分した場合は、次のとおりとなります。

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	飼料事業 (百万円)	畜産用 機器事業 (百万円)	不動産 賃貸事業 (百万円)	畜産物 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	32,323	694	108	2,934	424	36,485	—	36,485
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	0	1	—	3	6	(6)	—
計	32,323	695	110	2,934	427	36,491	(6)	36,485
営業利益	898	117	75	28	12	1,132	(255)	877

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。